

校内研修推進過程における適切な総括的評価の内容・方法はどうあればよいか。

教頭の意見を聞くようにする。

○評価内容や観点等は研修推進上の目標や到達基準等との関連を考慮して設定していくようにする。

○各段階における評価のチェックポイントを決めることになるが基本的には次のことを押さえる必要がある。

- ア 計画段階 ・ 研修課題について ・ 研究主題及び研究仮説について
- イ 実施段階 ・ 研修組織について ・ 年間推進計画について
- ウ 評価段階 ・ 校内研修会の実施について ・ リーダーの役割について ・ 資料の収集 ・ 活用について
- ウ 評価段階 ・ 研修の成果について ・ 次年度への生かし方について ・ 評価内容と方法について

○原案については、なんらかの形で全員に提示し、意見を集約してから確定するようにする。

○方法については次のようなことが考えられるが学校の実態に応じて最適なものを取り上げるとかいくつかの方法を組み合わせるなどの工夫が必要であろう。

- ・ 全職員からのアンケートによる方法 ・ 学年主任，教科主任等からのアンケートによる方法 ・ 学年，教科等で話し合い，集約する方法 ・ 全員による話し合いからまとめる方法 ・ 現職研修委員会等でまとめる方法 等

□各段階ごとの総括的評価について内容，方法，時期などを確定する。

□計画段階の総括的評価の内容を明確にし，決定する。

○上記の事柄から，計画，実施，評価の各段階について内容，方法，時期などをまとめる。  
○計画段階においては，自己啓発の観点から次のような評価の内容が考えられる。

#### < 研修課題について >

- ①児童生徒の実態から研修課題を集約したか。
- ②教師一人ひとりのニーズを生かして研修課題を集約したか。
- ③必要性，緊急性，達成可能性などを考慮して研修課題を限定したか。

#### < 研究主題及び研究仮説について >

- ①研修課題を生かした研究主題を設定したか。
- ②研究内容や到達目標を明確にして研究主題の共有化を図ったか。
- ③達成方法や研究計画を明確にして研究主題の具体化を図ったか。